

社説

軍艦は其種類に隨てれのべ用意を異にし候此大小相
兼ねる能はざるは前に述べたる如し今大艦小艦の利
不利の點を比較するに大艦は攻防の勢力共に優越なる
其上に石炭駆逐等の駆逐艦多きを以て能く折衝無海の
體に對すれば到底四敵す可らざるは一般の定則として
任を盡じ又戰闘がしきに堪ふるの利益より即ち巡洋艦
を以て主敵艦に對し小巡洋艦他艦の類を以て装甲巡洋
艦に對すれば到底四敵す可らざるは一般の定則として
不可をさ所なれども其不利の點を云へば大艦は割合に
屹立の深さが故に海上運動の區域自から限わり現に前
年英國の艦隊が埃及遠征の際新造の主駆逐艦に積量の
過大なるが爲にてアレキサンドリアの港内に入るを得ず
遂に冲合に浮遊して攻擊の不便を成じたるの實例ある
に反して小艦には沿岸到處の港灣に出入して進退自在
なるの利益あり歐洲列國が支那の長江又は其北方諸港
警備の爲めに派遣する砲艦は殊に吃水の淺きものと撰
み易き即ち其適例なり又艦體の面積狭きに隨て敵の砲
彈に中り易さは無論如何なる堅大艦にても水雷もし
くは撞頭に衝撃せらるゝ場合には沈没の危険は装甲皆
無の小艦と毫も異なるとなし殊に経費の點に於ては同
一の金額を以て巨大の軍艦を製造するとは隨て要數
を減ぜざる可らざるは當然の數にして然も戰闘又は變
災の爲に其一艦を失ふも國家の爲には非常の損失たる
を免る可らず先年英國が地中海に於て主戰艦ヴァルト
リア號（一萬一千噸）を沈没せしめたるは我伊豫沖に於
て彼の本艦砲艦千噸（七百五十噸）を失ひたるに比して
幾層倍の損害なりしかば之を知るに難からざる可し大
小艦を比較して其列不利の點は大凡そ右の如じと雖も
彼の主戰艦なる者は艦隊の無解として攻防の首力たる
可さるものにして海外の諸國にて海運の勢力を比較する
には必ず先づ此種の軍艦を想像すれば自から他の勢
力を以てして優勢を占むるの實を備へざるを得ず黃海の
戰闘に我機動以下の五艦は彼の定遠鎮遠の二艦を包撲
して百方あれど苦しめたれども戰闘數時間の後非常
の損害を蒙へながら尙ほ敗戦をして退走せしめたるは
畢竟我に軍艦艦なきが爲めに敵の一發に艦腹を貫かる
の危険を認りて近接するの機會を得ざりしが爲め
に外ならず以て戰闘に主戰艦の缺く可らざるを見る可
し據今所謂第一等主戰艦なるものは凡そ一萬噸より一
萬五千噸を過ぐるの間に於て其噸數の大なるに随て製造費
の増加する傾向は左の如し

量す可きふと勿論なりとて現に英國より今回派遣の時あるレノーン號の如きは一萬二千三百餘噸又前號の主戰艦五隻はれのく一萬二千九百噸のものなりとなれども海戦の勝敗は常に艦數の多少に由て決するの事實は古來の經驗に證する所にして戰術の上より觀察するも敵の艦隊の一部に對して迅速に我優勢の艦隊を集中し衆を以て寡を制するの利益は勿論、一旦彼我の本艦隊が戦を交へたる上は更らに新鮮の準備隊を差向け得るものも勝利に歸するは一般の定説なれば我輩は寧ろ一隻にても二隻にても有力なる艦數の多からんとを望むのみ然らば其噸數の程度は如何と云ふに兩々相對するときは一萬噸もしくは一萬二三千噸のものは一萬五千噸のものに敵せざるは勿論なれども今日の實際に一萬二三千噸以上の軍艦はエス運河を通過するひと容易ならざるが故に歐洲諸國より東洋に派遣する艦隊は其以下のものと見て差支なかる可し且つ又一萬噸以上の軍艦は噸數及び製造費の増加する割合に勢力を増すものに非ざるは疑ふ可らざる事實なれば我輩は實際の効力と製造費の経済とよりして主戰艦の製造には差當り先づ一萬二三千噸を程度として成る可く艦數を多くするを以て目下の至計なる可しと信ずる者なり

香港新聞の所

援兵の第三隊千二百人はマニラへ來着せし由にて是れに先發隊と守備隊とを合すれば西班牙軍は既に三千以上に達し此外土兵を加ふる時は反徒を征服するに餘力があれども輜重衛生共に未だ備はらず兵力も復た足らざるを危み尙ほ援兵到着し其總數八千となるまでは反徒を攻撃せざるもの如し

反徒、應戰の準備に急なり 斯の如く官軍の進撃延引を重ねるは偶々反徒に應戰の準備を整ふの暇を與へ其勢ます／＼猖獗にしてマニラ市を去る十二哩の地を容易に占領し追々逆襲せんとする模様あり尤も同市には陸軍駐在する上に又軍艦も始終近海を警戒し居れば難堪さるゝ虞なく安心なれどもカヴァイト州の北部東部は／＼帶に反徒の據る所となり遠く海を離るゝが故に海陸相應じて攻撃するを得ず専ら陸軍の力に依頼するの外なければ全く征服し終るには更に數箇月を要す可し

官吏僧侶の專横と再舉の虞 反亂の原因は官吏僧侶の專横に在るると世人の知る所なれどいよ／＼其實際を聞くに從ていよ／＼反徒と稱ひの念を増大しむるは士民成被處の首領に附り居れり官吏は彼等の膏血を吸ひて私欲を擴てし者も文書を以て田畠を

茂木熊吉(三十)浅草區千束町二丁目小崎兼吉(二十七)	同向柳原町二丁目成田治三郎(四十二)同町一丁目阪本	春吉(三十)芝區愛宕町三丁目柴田滿(二十五)深川區東
六間堀町吉原八藏(二十二)日本橋區室町一丁目吉野安	太郎(三十四)小石川區關口水道町三好榮次郎(四十二)	同町青塚兼次郎(五十三)下谷區車坂町坪木清次郎妻ツ
タ(二十九)四谷區傳馬町新一丁目外山新兵衛(五十一)	本所區松坂町二丁目小林文吉妻トミ(五十五)の十五人	にして内安太郎熊吉、兼次郎の三名は死亡し其他は送
にして内安太郎熊吉、兼次郎の三名は死亡し其他は送	院治療中なりと	院治療中なりと
○府下虎列刺患者總數 本月五日より三十日迄		
の聞府下の虎列刺患者總數は左の如し		
翌日	一〇一一〇〇	患者
六日	一〇一一〇〇	患者
七日	一〇一一〇〇	患者
八日	一〇一一〇〇	患者
九日	一〇一一〇〇	患者
十日	一〇一一〇〇	患者
十一日	一〇一一〇〇	患者
十二日	一〇一一〇〇	患者
十三日	一〇一一〇〇	患者
十四日	廿三日	二
十五日	廿四日	十三
十六日	廿五日	十二
十七日	廿六日	十三
十八日	廿七日	十一
十九日	廿八日	八
二十日	廿九日	五
廿一日	三十日	五
廿二日	合計	一百〇五
廿三日		
廿四日		
廿五日		
廿六日		
廿七日		
廿八日		
廿九日		
三十日		

後篇 女武者